

2028 ロスオリンピック予選会  
 (2028 ロスオリンピック予選大会、2028 アジア選手権大会は未発表)

2026.4.1現在

8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
			選手権	オリンピック予選大会①			オリンピック予選大会②	アジア選手権大会		オリンピック予選大会③			世界選手権大会			オリンピック予選大会④		オリンピック予選大会⑤	アジア選手権大会?		世界選手権大会			ロスオリンピック
		世界																						
		CHN		QAT			UZB	KOR		PER			ARM		VEN		THA			KAZ				USA
試合期間		Period1(第1期間)												Preod2(第2期間)						07.25~07.29				

「2028年ロサンゼルスオリンピック大会でのメダルの獲得と上位入賞を最大の目標とする。目標達成に向けて特別選手を設定し、選手の負担軽減措置を講じて本大会への万全な体制に資する。」以上の考えから以下のとおり選考基準を設ける。

※すべての予選大会オリンピック階級は1階級最大2名まで、非オリンピック階級は1名までとする。選考については基準記録を超えている数値の上位選手から選考する。

### 1. 2026年世界選手権大会国内予選会について

- (1) 2026年全日本選手権大会までの結果で選考  
(選考4大会周知済み+2026年全日本選手権大会含む計5大会)
- (2) 最大男子8名女子8名を選考

### 2. 2026年世界選手権大会終了後の特別選手の選考について

2026年全日本選手権大会までの選考5大会の結果と2026年世界選手権大会の結果を含めて、オリンピック指定階級に限定して男女それぞれ最大上位3名を特別選手とする。

特別選手は、世界選手権大会の結果により13位(1国1名ランキング)以内の選手とする。

特別選手は、第1ピリオドの出場試合を原則3試合選べる。(ロサンゼルスオリンピックの国別最大出場枠3名を目指すため)原則1階級1名だが、同一階級に8位以内が2名いる場合は2名それぞれ認定する。ただし、特別選手の認定は第1ピリオドまでとする。

### 3. オリンピック予選大会における階級変更について

2026年世界選手権大会の結果を踏まえ、オリンピックレースにおいて階級変更が有利と判断される場合には、予選2試合目から出場階級を上位階級へ変更することができるが、選手強化委員会で審議し承認する。特別選手はピリオド1内で階級を変更しても、再び認定された階級に戻った場合は特別選手のままである。階級を下げる場合は、その階級での実績が必要になる。

#### 4. 2026年オリンピック予選大会①

- (1) 特別選手は出場権利を有する。
- (2) 2026年世界選手権大会に選考されなかった選手について、基準記録以上の記録を有する者がいる場合には、2026年オリンピック予選大会①への出場を認める。

#### 5. 2027年オリンピック予選大会②、2027年アジア選手権大会の選手は下記の大会をもとに選考する。

##### 記

○2026年世界選手権大会選考大会（選考4大会周知済み+2026年全日本選手権大会含む計5大会）の結果（2026年オリンピック予選大会①終了後に選手選考基準を作成する）

##### ○国際大会

- ・2026年世界選手権大会
- ・2026年オリンピック予選大会①

##### ○国内大会（オリンピック予選大会に出場していない選手）

- ・2026年国民スポーツ大会(10月)
- ・2026年全日本社会人(11月)
- ・2026年全日本女子選抜大(11月)
- ・2026年全日本大学対抗戦(12月)
- ・2027年全日本学生選抜大会(3月)

以上の大会のうち1大会について、国民スポーツ大会前までに所定の用紙で日本協会事務局及び選手強化本部長に申告する。

- ・特別選手は出場権利を有する。
- ・世界情勢によって大会期間に変更が生じた場合は再審議する。

#### 6. 2027年オリンピック予選大会②

- (1) 5の結果を基に、2026年オリンピック予選大会①までの世界ランキングにおいて、1国1名換算による20位以内の記録保持者（20位同記録を含む）男女それぞれ最大8名を選考する。
- (2) 特別選手はこの大会を指定していれば出場できる。

#### 7. 2027年アジア選手権大会

- (1) 5の結果を基に、2026年オリンピック予選大会①までの世界ランキングにおいて、1国1名換算による20位以内の記録保持者（20位同記録を含む）男女それぞれ最大8名を選考する。
- (2) 特別選手はこの大会を指定していれば出場できる。

これ以降の選考方法についてはピリオド1の2大会(2026年世界選手権大会・2026年オリンピック予選大会①)の終了をもって審議を開始するものとする。